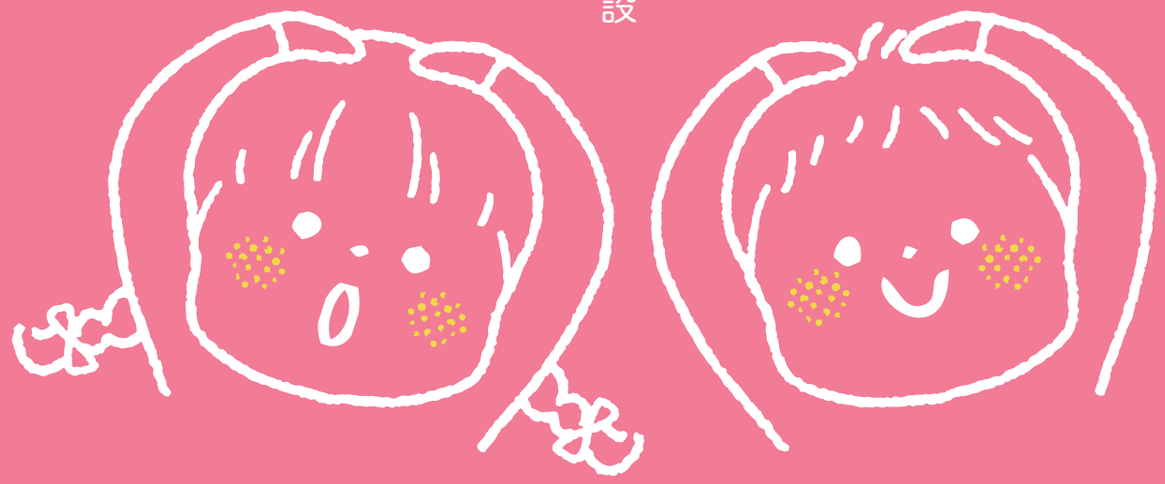
相模原協同病院と地域をつなぐコミュニケーションペーパー

Green
グリーン

SAGAMIHARA KOYDO HOSPITAL

Vol.6
2023.6

特集 「小児科」頭のかたち外来開設



Green Vol.6
相模原協同病院と地域をつなぐコミュニケーションペーパー
Design 株式会社P栄文舎 発行 2023年6月

Green
グリーン
SAGAMIHARA KYODO HOSPITAL
Vol.6 2023.6

地域医療の最前線 … 2
特集 topics … 5
ちょっといい話 … 8
Bein' Green ー連載コラムー … 9
街のあかり … 10
News&Communications … 11

編集後記

春の訪れと共に新年度が始まり、あっという間に初夏の季節になりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。
この度、広報誌「GreenVol.6」ができあがりました。ご執筆いただいた先生方、看護師さん、編集作業や印刷・製本をご担当いただいた多くの方々に深く感謝いたします。

週末になるとラーメンが食べたくなり、食べ歩きをしています。今回街のあかりで取材させていただいた「吉凛」は、お気に入りのラーメン屋さんの1つです。私は「貝だし塩らぁ麺」が好きです。店内は、お洒落なカフェのような雰囲気でラーメン屋さんぽくないところも気に入っています。季節毎に期間限定メニューがあるようなので、今度は限定メニューを食べに行こうと思います。

次号の広報誌「GreenVol.7」は、秋頃の発行予定です。お楽しみに！

神奈川県厚生農業協同組合連合会
相模原協同病院
〒252-5188
神奈川県相模原市緑区橋本台 4-3-1
ＴＥＬ：042-761-6020 ㈹
ＦＡＸ：042-713-3525
Ｈ　Ｐ：www.sagamiharahp.com

HP　YouTube
Twitter　LINE

地域医療の最前線

NICUとは？

NICUは、新生児集中治療室(Neonatal Intensive Care Unit)の略称です。出生直後の赤ちゃんに疾患がある場合に入院する病室です。早産であったり、先天性の疾患があったり、胎内から胎外への適応が上手くいかなかった赤ちゃんが対象になります。

当院のNICUは、神奈川県周産期救急医療システムの「中核病院」としての指定を受け、基幹病院である北里大学病院周産期センターと連携を取り入院加療が必要な新生児の医療を24時間体制で提供しています。

NICUという場所は、ICUと名の付く病棟は病院内にいくつもある中、入院から退院まで継続的にケアを担当させていただく唯一のICUになります。つまり、出産直後の予期せぬ入院で動揺するご家族が、お子様が回復し、嬉しそうに退院するまで見守れる場所になります。それは我々の大きなやりがいになっています。

NICUでは【ファミリーセンタードケア】という言葉が定着しています。これは、ケアの中心は【ファミリー】であって、常に家族とともにケアを組み立て、退院後の自宅療養の支援をしていくことを意味しています。

本来、ご家族にとって、赤ちゃんと過ごす時間はかけがえのないものです。そして、その時間は成長と引き換えに、後からは戻ってこない特別なものです。もしかすると我々は、その大切な時間を奪っているのかもしれない、と考えながら治療に当たっています。特にコロナ禍の診療では面会の制限を余儀なくされました。その中でも、少ない時間を家族の大切な時間として、スタッフで支援させていただきました。今後も、子供たちの未来のため、家族を中心にケアを続けていきます。

また、退院に向けては、産後ケア入院や、病児保育室(みどりっこ)を併設しており、自宅療養にむけての準備もお手伝いさせていただきます。こちらは、NICU入院に関係なく利用いただけます。我々は、近隣の方々が安心して育児ができる環境づくりを目標にしています。

体や心の問題に丁寧な診察を行うこと

私は、2021年1月に病院の移転と同時に北里大学病院から赴任してきました。私の専門分野は新生児で、大学病院では出生体重1000gに満たない超早産児や、先天的に疾患を有する患者さんを数多く診療してきました。

私の20年のキャリアの間でも、超早産児の予後は大きく改善してきています。我々のデータでも約8割の子供たちが、小中学校の通常級に在籍するようになりました。

しかし、一方で、体や心に問題を抱える子供たちがいる現状もあります。当院に赴任するにあたり、こういった体や心の問題に丁寧な診察を行うこと、そして、早産児の発達を改善する方法を模

積極的な治療を行うための集中治療施設

「小児科NICU」

周産母子センター長
鈎持(けんもち)　学(まなぶ)　医師

◆資格
医学博士
日本小児科学会専門医・指導医
日本周産期・新生児医学会(新生児)専門医
NCPRインストラクター
臨床研修指導医
身体障害者福祉法指定医(肢体不自由)

索することを目標にしています。そこで、まずは予防の充実を念頭においています。

具体的には、ワクチン、健診の充実になります。ワクチン接種に関しては、小児の新型コロナウイルスワクチンの集団接種も行いました。健診も時代とともに不安内容、またニーズも変化します。そこに寄り添う形での変化が必要と考えます。その一つとして4月から『頭のかたち外来』を開始しました。

頭のかたち外来のご紹介

最近、乳児の「頭のかたちが気になる」という相談を多く受けるようになりました。原因の多くは、向き癖に伴う『位置的斜頭症』になります。成長に伴い、仰向けで過ごす時間が減ってくると改善はしますが、乳児期早期の程度が強いと将来的にもゆがみが残存し「帽子が上手くかぶれない」「眼鏡がかたよる」といった原因になることがあります。

『頭のかたち外来』では、ゆがみの原因を調べ、程度を評価します。そして、重症の場合は治療を勧めることがあります。ヘルメット矯正治療と言われるもので、オーダーメイドしたヘルメットを半年間かぶってもらうことになります。

治療が成功するためには、発育・発達の問題がないかの診察が重要です。このため発達の評価ができる医師が行うことが重要と考えています。

令和5年4月から専門外来を開設しています。ヘルメット矯正治療は保険治療ではなく自費治療になりますが、頭のゆがみの原因の診断は保険診療となります。赤ちゃんの頭のかたちが気になる方はご相談ください。

外来のかかり方

診 療 日：月曜日、金曜日の午前中（受付時間8：00〜11：30）
※他院からの紹介状があるとスムーズです。
紹介状が無くても受診可能ですが、
初診時選定療養費（7,700円）が別途かかります。

担当医師：周産母子センター長　釼持　学

お問合せ：相模原協同病院小児科外来 ☎042-761-6020（代表）

特集 Topics

看護師専門外来の紹介

看護師専門外来では、通常の外来を受診した後、医師の指示に基づき、看護師が患者さんの日常生活・治療・療養について、生活全般のケアや指導・相談、情報提供などを行っています。

Interview with 糖尿病看護外来

糖尿病ケアチーム↑

日本糖尿病療養指導士（CDEJ）
星　恵美

Q 休日の過ごし方は？
→ ホットヨガで
心と体を整えてます！

Q 糖尿病看護外来のお仕事内容は？

糖尿病という病気は患者さん自身によるセルフケアが大切ですが、生涯に渡り病状と向き合うことは容易なことではありません。

「糖尿病看護外来」では、糖尿病とともに暮らしていく中で生じる不安や困りごとへの相談や、療養に取り組む際の具体的なアドバイスなどを行っています。患者さんとともに生活の工夫を考え、効果が得られた際の患者さんの喜びは、私たちにとっても大きな喜びでもあります。また、治療に関してだけではなく、生活全般のアドバイスも行っています。

Q 今の外来を目指したきっかけは？

内科外来で勤務していた頃、当時の看護副部長の勧めでフットケア研修を受講する機会がありました。

当時私は、3人の子育てに忙しく、大きな目標のない時期でしたが、フットケア研修を受講したことにより、フットケア外来の立ち上げ、その後の日本糖尿病療養指導士の資格取得、そして今の外来（糖尿病看護外来）をやるきっかけになりました。

Q やりがいや今後の目標は？

療養指導外来は患者さんとのお話がメインの外来です。糖尿病になったきっかけを振り返り、生活習慣の改善に取り組みます。

大事にしていることは、患者さんの背景を知り、患者さんの話をよく聴き、決して押し付けにならず、改善のための取り組みを見つけることだと思っています。継続することはとても難しいです。「3日坊主でもいいんです。3日

Interview with アレルギー看護面談外来

アレルギー疾患療養指導士（CAI）
尾﨑 光代

休日の過ごし方は？
→ ダイビング、アロマ

Q アレルギー看護面談 外来のお仕事内容は？

気管支喘息やアトピー性皮膚炎などのアレルギー疾患をもつ患者さんやご家族に治療や生活上のポイントなどをお話します。アレルギー疾患は内服薬だけでは良くならないことがあるため、薬の正しい使用が重要です。気管支喘息では吸入薬による治療、アトピー性皮膚炎では外用剤を使用する治療があります。薬の使用方法を説明し、理解してもらうことで治療効果を発揮することができます。

説明をする時は、生活背景や状況を把握すること、子供の発達や理解力の確認をして子供と向き合って伝えることを大切にしています。毎日の治療やケアは患者さんやご家族の負担になることもあるため、治療中心の生活ではなく生活の中に取り入れる方法を一緒に考えるようにしています。

アレルギー疾患は定期的な受診が必要です。受診時には薬の使用方法の確認や生活する上で問題がないかなどをお伺いして、患者さんやご家族に寄り添った看護の提供ができるように心掛けています。

Q 今の外来を目指したきっかけは？

小児科看護師として長年勤務する中で、アレルギー専門医を通じてアレルギー疾患をもつ患者さん、ご家族との関りの重要性に触れることができました。さらに知識を深めてスキルアップをしたいと考えていた時に、2021年度からアレルギー疾患療養指導士の資格認定制度が始まりました。症例検討や勉強は大変な時もありましたが、学ぶことは楽しく充実していました。

Q やりがいや今後の目標は？

患者さんの症状が改善し、治療やケアが順調に行えている時にやりがいを感じます。また、ご家族の負担を取り除くことができた時もやってよかったと感じる瞬間です。患者さんやご家族から「かゆくなくなったよ」「泣かないで吸入が出来ています」「洗い方や塗り方が分かったら良くなりました」などと笑顔でお声がけされると本当に嬉しく励みになります。

今後は資格をさらに活かすため、コミュニケーションスキルの向上に努めていきたいと考えています。ご家族からは医師に話せなかったお悩みなどを相談されることがあります。医師の診察時間だけでは限界があるため、そこを埋めるのも大きな役割になるので、補えるように努めていきたいと思います。

坊主を繰り返していけば継続につながります」「できることから始めましょう」と励ましながら、生活の工夫を考える時間は、楽しくもあり、やりがいにもなっています。そして、患者さんが少しずつ変化していく姿は、大きな喜びになっています。

当院の糖尿病患者さんへのケアは、糖尿病ケアチームというチームで活動しています。医師や看護師のみならず、栄養士や理学療法士、薬剤師などと連携を取りながら、一人の患者さんのお手伝いをしています。

今後は、糖尿病やその治療について知ってもらえるよう啓蒙に力を入れていきたいと考えています。地域の方々に向けて、糖尿病教室や世界糖尿病デーのイベントを開催しますので、ぜひご参加ください！

糖尿病看護外来
診療日
月~金曜日（予約制）
※曜日により時間が異なります。

アレルギー看護面談外来
診療日 毎週火曜日
15:30～（予約制）

アレルギー初診外来
診療日 毎週木曜日
14:30～（予約制）

外来紹介

当院は、地域医療支援病院として、
地域の医療機関と日ごろから連携体制を
構築しています。

フットケア外来

糖尿病の患者さんの足の状態をチェックし、日ごろの足のお手入れの方法の説明や、爪が切れない方への爪のケアなどを行い、足病変・足切断から足を守るための援助をしています。足病変を予防するためには、普段から足に関心を持ち手入れをすることが最も大切です。そのためのお手伝いをさせていただきます。

診療日 第2・3・4火曜日　13:30～（予約制）
第1・2・4水曜日　13:30～（予約制）

ストマ外来

人工肛門・人工膀胱の手術をされた方々のためにストマ外来を開設しています。ストマに関する悩みを持つ患者さんまたはご家族に対し専門の知識をもった看護師が対応しています。

診療日 第1・3水曜日　13:00～（予約制）
第2・4火曜日　13:00～（予約制）

リンパ浮腫外来

乳がんや子宮がん、前立腺がんなどの手術や放射線治療後にリンパの流れが阻害されて起こる手足のむくみをリンパ浮腫といいます。リンパ浮腫外来では、むくみを軽減させるケアを行いながら、ご自身でケアできるよう正しいケア方法を習得していただきます。

診療日 毎週金曜日　9:00～17:00（予約制）

禁煙外来

我慢だけで禁煙してもその半数以上の人が半年以内に喫煙を再開し、1年後も禁煙を維持しているのは、1割程度といわれています。ひとりではなかなか克服できるものではありません。医師の診断後の生活指導などサポートを行っています。

診療日 毎週金曜日　14:00～16:00（予約制）

わよっと いい話

医学と工学の結晶 ペースメーカの話

医療技術部　臨床工学室　山田　拓平

ペースメーカとは？

「ペースメーカ」という言葉ご存じでしょうか。マラソンなどの競技において、先頭を走って一定のペースを作り出す存在として聞いたことがあると思います。

医療における「ペースメーカ」は、徐脈性不整脈に対する治療で使用する医療機器を指します。日本では年間約6万人の方がペースメーカ植え込み手術を受けておられ、今なお多くの方がペースメーカと共に生活されています。医療機器が体内に植え込まれることに驚かれると思いますが、特別な治療ではなく、広く普及している治療法です。

今回は医療で使用されるペースメーカについてお話します。

心臓とペーシング療法

ペースメーカによる治療は、心臓に電気刺激（ペーシング）を伝える治療法で「ペーシング療法」と言われており、医学と工学を併せ持つ医療分野の一つです。この性質上、ペースメーカは電気刺激を発生させる装置と電気を伝える導線の2つから構成されています。

心臓は、1分間に60～80回収縮して、身体のすみずみまで血液を送り出すポンプの役割をしています。しかし、時として心臓に異常をきたし脈が1分間に50回未満になる徐脈という状態になることがあります。このような徐脈が起こると、めまいを頻繁に感じ、場合によっては失神に至ることがあります。

徐脈が起きている心臓にペーシング療法は効果的です。ペーシング療法は、心臓のリズムを見守り、脈がゆっくりになった時に心臓の拍動を補うように設定されています。

ペースメーカQ&A

Q. 電池は充電式ですか？

ペースメーカは内蔵された電池によって動いていますが、2023年現在、充電式のペースメーカはありません。電池寿命が少なくなってきたら電池交換が検討されます。電池寿命は設定や使用頻度に左右されますが、平均で6～8年と言われています。

Q. 電子機器は使用しない方がいい？

日常生活で使用する電子機器は今まで通り使用できますが、注意が必要な電子機器があります。担当医師にお尋ねください。

Q. お風呂や温泉は入れるの？

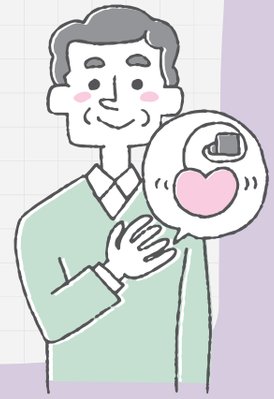
お風呂や温泉に入れます。ただし、銭湯などにある電気風呂はペースメーカに影響する可能性がありますので避けてください。

Q. ペースメーカ外来って？

退院後は、ペースメーカの定期的な管理が必要です。当院では、4～6ヶ月に1度、専用の外来を設けています。身体の診察と共にペースメーカの設定や作動が適切であるか確認しています。

Q. 旅行には行けるのかな？

国内外問わず行くことができます。ただし、金属探知機にペースメーカが影響を受ける可能性があります。金属探知機を使用する空港などでは係員にペースメーカを利用していることをお伝えください。



連載コラム

Bein‘Green

Vol.6

「小さなことだけど」

異なる音楽アーティスト同士がコラボして曲を出すときによく用いられる表現に、「ｆｅａｔ．○○（アーティスト名）」というのがあります。

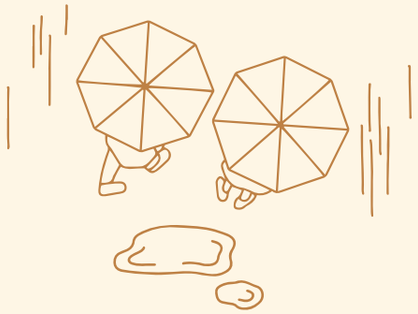
あの「ｆｅａｔ．」というのは「ｆｅａｔｕｒｉｎｇ」の略で、カタカナで書くと「フィーチャリング」のようになるはずです。しかし、そのアーティスト本人のインタビューなどを聞くとしばしば「○○さんをフューチャーして」と言っているのを聞いて毎回もやもやしてしまうのです。本来の意味としては「○○を主役とした」とか「特集した」みたいなことらしく、単に並列で共作したのとは重みが違いそうです。どのみち外来語なんだから、文脈から理解すれば全然問題ないのですが、つい突っ込みたくなってしまうのが人情です。どう見ても「ｆｕｔｕｒｅ」つまり「未来」している、のではないことは明らかです。バックトゥザフューチャーじゃあるまいし。あ、例えが昭和ですみません。

ちなみに、ペットを入れるかごみたいなものを「ケージ（ｃａｇｅ）」といいますが、なぜか多くの人が「ゲージ」と発音します。

外来語だけではありません。世間一般では「重複」を「ちょうふく」と読みますが、医療の世界ではいちどに2種類のがんが見つかるとそれを「重複がん」といい、「じゅうふくがん」と読むのが正しいそうです。それから、「検診」と言えば病気ではない人が受ける健康診断のことですが、比較的多くの患者さんが病気のために通院することを「検診にきた」と言います。そうかと思えば最近、「有効的に」っていう人増えていませんか？一昔前までは「ゆうこうてき」に充てる漢字は「友好的」一種類だったはずです。どれも文脈的には間違いなく通じるから構わないのです。でも、それって本当にアリか？と引っかかってしまうのです。なんと言いますか、腹落ちする「語感」のゾーンが狭いのかもしれません。

これ、日本人同士の日本語でも気になるのに、例えば英語圏の人達って、ネイティブではない人々の話す「ちょっと違う英語」を毎日さんざん聞いているはずです。だから細かい間違いには相当寛容でなくてはやっていけないだろうと想像するわけです。それとも大英帝国による世界制覇以来の歴史が長くて慣れてしまったのでしょうか？

近ごろはダイバーシティだのインクルーシブだのと「何でもアリ」を認め合おうという時代の中で、日々の小さな言葉尻にさえ、もやもやしてしまう自分がいるのでした。



Bein‘Green

「緑色であること」セサミストリートのかえるのカーミットが唄う名曲です。

自分らしさを誇れるっていいよね、という意味合いがあります。

文：橋爪 正明
緩和ケア科診療部長

街のあかり
―地域×探索―
vol.5

らぁ麺食堂 吉凛（きちりん）

～いつか相模原から全国へ てづくりにこだわる王道ラーメン～

緑区西橋本にあるらぁ麺食堂吉凛を訪ねました。カフェを思わせるようなおしゃれな外観で、店内は天井が高く窓が大きいためとても明るく内装も落ち着いた雰囲気です。駅からは少し離れているので車での来店がおすすめ。

ラーメンの王道を進む店長が奇をてらわず、国産食材とシンプルさにこだわったラーメンを味わうことができます。一番人気は「塩らぁ麺」。沖縄産のほのかな甘みが特徴の海水塩「青い海」を塩ダレにマグロ節、鰹節、鯖節などの魚介の出汁と鶏ガラ、豚ゲンコツをじっくり煮込んだスープが特徴です。さがみはらぁ麺グランプリで2大会連覇（優勝）、受賞も6度という実績を誇ります。

醤油らぁ麺は相模原産の醤油をベースに作られたもの。めんまは九州から取り寄せている逸品。麺は国産小麦を打ち、トッピングの卵は田名産で地場産、手作りがモットーの一品です。

一方サイドメニューのラーメンスープをベースに、数十種類のスパイスでつくられたカレーも格別で人気メニューだとか。お店の公式SNSではテレビ出演し、店長が番組内でラーメンを作ったことも紹介されています。お特な割引券を以前、相模原協同病院にも提供されたそうです。お持ちの方はぜひご利用してみてはいかがでしょうか。

店長、中村広重さんにお話を伺いました。

中村さんは以前は旅行代理店で働き、全国をまわっていました。その後某ラーメン店で11年間店長を経験し、2015年、縁あって今のお店で店長として働くことになりました。実家は中村さんが幼少の頃から今も人気のラーメン店。頑張る親の背中を見て育った中村さんは同じ職業を選びますが、大変さを身に染みて知っているご両親は反対したそうです。そこで挫けず起業の不安を乗り越え、お店を軌道にのせた中村さん。どんな時も一貫して大切にしているのはお客様の喜ぶ笑顔です。

「スープを最初に一口すすった時のお客さんの顔がとても美味しそうに喜んでくださっていると、本当にこの仕事の遣り甲斐を感じますね」。そう話す中村さんもまた嬉しそうな笑顔です。地域の小学生が町探検で訪れると、切る前の大きなチャーシューの塊を見せたり、試食させてあげたそうです。「お礼の手紙をもらいました。時々眺めてほっこりしています」とのこと。

「あらゆる世代の大勢の方に美味しく食べてもらって、日々ブラッシュアップを重ねて、いつか相模原から全国レベルのラーメン屋さんが誕生するよう展開していきたいです」とイキイキと夢を語ってくださいました。

お店情報
●所在地：相模原市緑区西橋本1-19-48　●電話:042-703-7227　●駐車場：11台
●営業時間：平日11:00～15:00/日祝11:00～20:00　●定休日：なし

Twitter　Instagram

▶ PFMによる入院前から退院後までの支援について

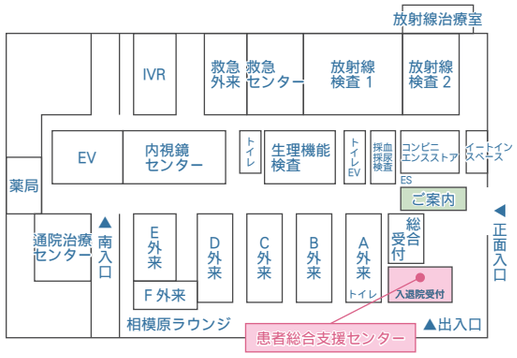
PFMとは？　患者さんの入退院に伴う様々な困りごとや心配を早めに解決することを目的に、入院する前に必要な情報を収集し、入院中や退院後の生活を見越した支援を行います。

入院する前に患者さんやご家族にお話を伺います

1. 入院患者さんの生活の様子、病歴、家族構成、内服薬、利用している福祉サービスなどを伺い、入院する病棟の看護師や薬剤師、栄養士など様々な医療スタッフと早めに情報を共有していきます
2. 入院前に心配なこと、不安な事などを伺い、安心して入院中の生活や治療を受ける事が出来るようにします
3. 入院前から退院後の生活をイメージしスムーズな入院生活・退院を迎えられるような病院内の様々な医療スタッフと連携をしていきます

PFMの窓口

患者総合支援・がん相談支援センター
TEL：042-761-6020(代)
時間：月ー金　9:00～17:00
土曜日　9:00～12:30
（第三土曜日・祝日除く）



▶ 広報誌Green読者アンケートへのご協力について

アンケートはこちら▼

相模原協同病院では地域向け広報誌「Green」の充実した誌面作りのために、読者の皆さまのご意見、ご要望、ご感想をお聞きするアンケートを実施しますので、ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。